

学力向上対策室だより

～ AIドリル アンケート結果発表 ～

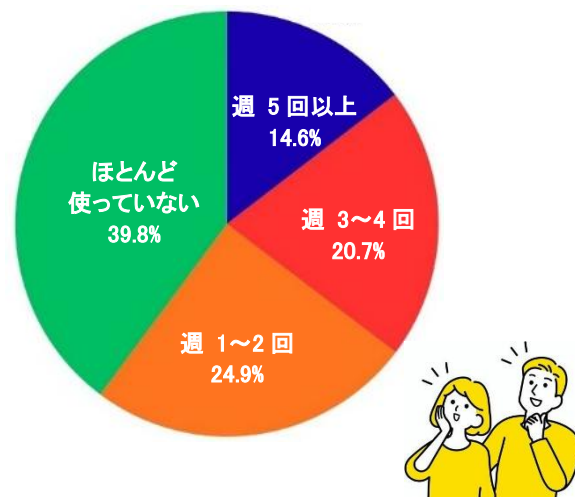
R8
9月

7月7日～7月17日の期間に学校を通じて実施しましたAIドリル「navima」に関する保護者アンケートにご協力いただきありがとうございました。158人からご回答をいただきました。今回は、1学期に実施した児童生徒アンケートの結果もあわせて、利用状況や課題を整理し、お伝えします。



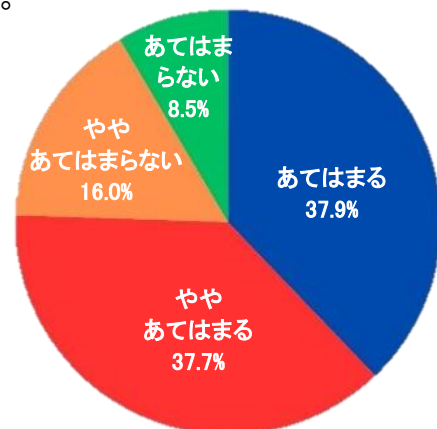
1. 活用状況

◎小学生では「週5回以上」利用している児童が14.6%と前年から微増した一方、「ほとんど使っていない」児童が39.8%と前年から増加し、日常の利用については二極化が進んでいます。

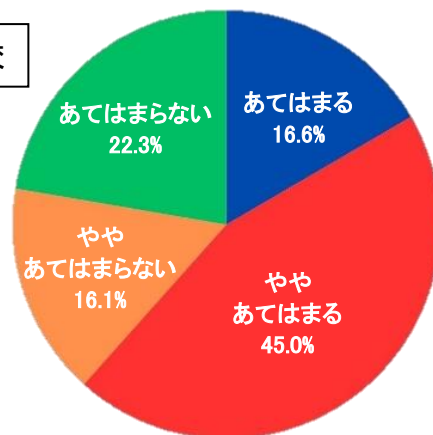


◎「自分のペースで学習できる」の肯定回答率は、小学生が約75%、中学生が約62%と高い割合を示しています。

小学校



中学校



2. 学校ではこのように活用しています！

市内小中学校の取組例

◎全学年でnavimaに取り組む「navima Day」を実施。短い時間でも“毎週必ず触れる”ことで、学習の習慣化をねらう。

◎授業の開始5分間を使って1ドリルずつnavimaに取り組み、復習している。

◎定期テストの出題範囲に必ずnavimaの問題を入れる。



このQRコードから
navima ナビに
つながるでござる



取組の様子は「navima ナビ」より <https://navi.navima.jp/>

3. 保護者の方からのご意見より



たくさんのご意見ありがとうございました。一部ですが紹介します。

- ・とても良い学習ツールで、無料で使わせてもらえるのはすごいと思う
- ・親子で取り組んで何かモチベーションが必要かなと思います。有効活用できるよう考えたいなと思いました。
- ・タブレットを毎日持って帰る習慣がなく、せっかく良い取り組みなので大いに活用してほしいと思います。
- ・navimaのおかげで宿題以外で勉強に取り組む事が出来ました。予習はあまりやりたがりませんが復習は結構やりました。そのおかげでテストでも良い得点が取れたと思います。
- ・大々的に自由に使用できることをアピールするほか、活用事例の紹介などあるといいと思います
- ・漢字・計算は手書きでしっかりと定着させたい
- ・タブレット学習に向いてない学習項目はプリントなどで対応してもらえると家庭でも教えやすいです。
- ・タブレットばかりの宿題になると、視力低下の問題にもつながるため考えてほしい。
- ・画面上で勉強するよりも紙の方が頭に入る
- ・漢字を書く問題が正しく書いているのにうまく反応しない時があり、本人のやる気がなくなってしまう。

いただいたご意見は学校にも共有し、今後の活用の参考にしていきます。また、機能面などのご意見については、開発会社に共有し、機能改善について要望していきます。

ICT機器の使用に伴って、視力や姿勢など健康への影響が懸念されます。navimaをしているときもですが、ゲームやスマホを使用しているときなど、お子さんの姿勢や画面との距離、使用時間など、ご家庭でもお子さんと確認しながら、適切なICT機器の活用を進めましょう。



「学力向上対策室
だよりR74月の2」
もご参照ください。



泉南市教育委員会 教育部 学力向上対策室
〒590-0505 大阪府泉南市信達大苗代 374-4
TEL: 072 (483) 3673

花笑み
sennan